

第3期登別市地域福祉実践計画「きずな」

校区きずな計画
1年目（平成28年度）評価書

社会福祉法人登別市社会福祉協議会・きずな推進委員会

1. はじめに

- 第3期登別市地域福祉実践計画「きずな」における校区きずな計画は、8小学校区ごとに重点項目別の評価を毎年度作成することとしています。
- 平成28年度における校区ごとの取り組み状況について、校区きずな推進委員会内で評価を行いました。
- 2及び3に掲げる評価指標に基づき点数化を行い、レーダーチャートとして図式化を行いました。
- 掲載しているきずな推進委員については、平成29年9月1日現在の名簿を記載しています。

2. 総合評価の指標について

評価指標	内容	点数	平成29年度に向けて
①調べる (確認する)	●校区の実態を確認することができたか 例)住民座談会等で校区の課題などを確認できた。		・ ・
②知る (学ぶ)	●知る・学ぶ機会を設けることができたか 例)住民座談会等で学ぶ機会を設けることができた。		・ ・
③つながる	●関係する団体等とどの程度つながることができたか 例)関係団体と連携して取り組むことができた。		・ ・
④伝える	●どのくらいきずなを伝えることができたか 例)住民等に取り組み内容等を伝えることができた。		・ ・
⑤高める	●地域をよりよくすることにつながったか 例)取り組みを実施して機運の高まりを感じられた。		・ ・

1年目を振り返り、
協議のポイントを評価指標ごとに
箇条書きで記載。

3. 評価点数の内容について

●次のとおり4段階にて評価点数を定めました。

評価点数	内容
1	計画されていたが取り組めなかった
2	一部の取り組みしかできなかった
3	計画どおり取り組むことができた
4	取り組みができ一定の成果があった

4. 目次

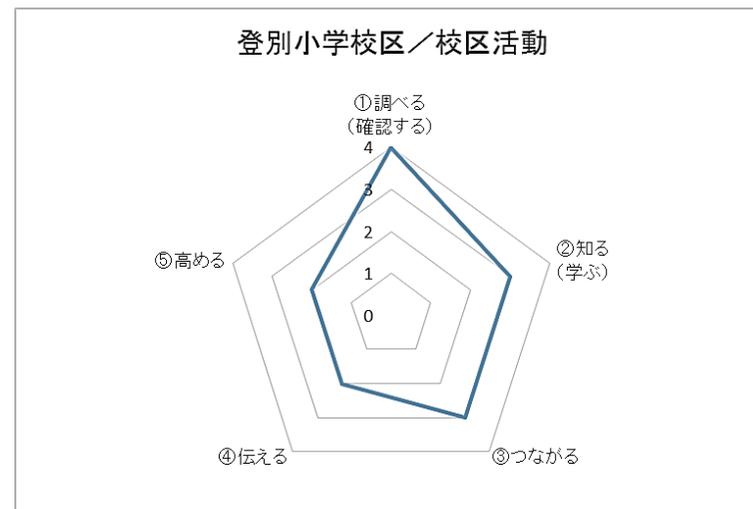
(1) 登別小学校区	3
(2) 幌別東小学校区	8
(3) 幌別小学校区	13
(4) 幌別西小学校区	18
(5) 青葉小学校区	23
(6) 富岸小学校区	28
(7) 若草小学校区	33
(8) 鷺別小学校区	38

登別小学校区

登別小学校区

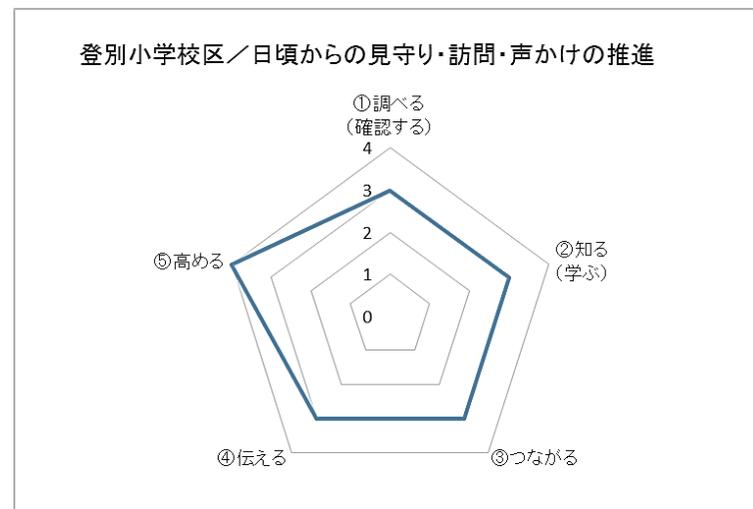
①校区活動

評価指標	内容	点数	平成29年度に向けて
①調べる (確認する)	・校区の実態を確認することができたか ○校区推進委員会を2回(7月、11月)、住民座談会1回(12月)を開催し、それぞれで目的を果たすことができた。	4	○継続して、各種会議等を開催する。
②知る (学ぶ)	・知る・学ぶ機会を設けることができたか ○住民座談会により、地域内で行われている様々な活動を知ることができた。	3	○その時、地域が求めているものをテーマとして、住民座談会を開催する。
③つながる	・関係する団体等との程度つながることができたか ○住民座談会に、地域包括支援センターの職員にも参加してもらったことで、地域住民との顔つなぎの一助となった。	3	○今後も専門職に住民座談会等への参加を促し、つながりを持つ機会を設定する。
④伝える	・どのくらいきずなを伝えることができたか ○住民座談会において、日頃の福祉活動=きずな活動であるとの周知は行ったが、浸透としては不十分である。	2	○少しずつ丁寧に伝えていく必要がある。
⑤高める	・地域をよりよくすることにつながったか ○校区推進委員会における意見を反映させ、委員会の体制強化のために各町内会に委員推薦依頼を行ったところ、4名の追加があった。 ○そのことが直接地域をよりよくするには至っていないが、前進はしたのではないだろうか。	2	○校区推進委員会内において意思疎通を図りながら、地域に求められていることへの対策も踏まえ、検討を行う。



②日頃からの見守り・訪問・声かけの推進

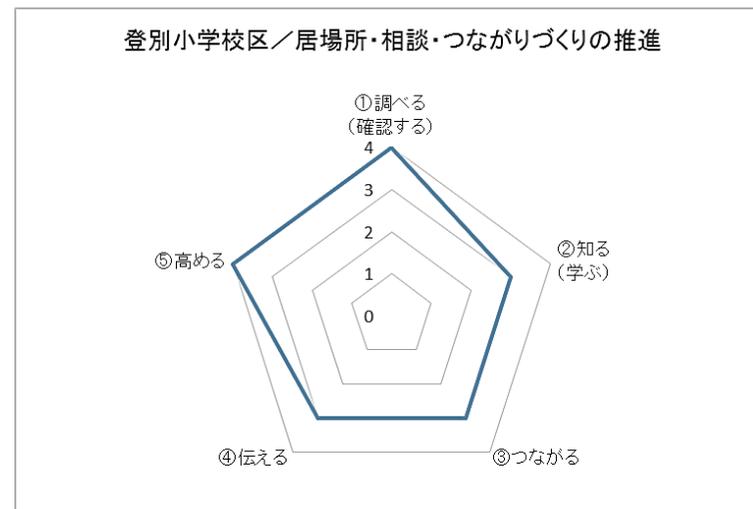
評価指標	内容	点数	平成29年度に向けて
①調べる (確認する)	・校区の実態を確認することができたか ○校区内18単位町内会の内、9町内会にて取り組まれている。(実施率50%、1町内会増)	3	○校区内全町内会の普及に向け、PRが必要。
②知る (学ぶ)	・知る・学ぶ機会を設けることができたか ○住民座談会等で周知を図った。	3	○各町内会、地区連合町内会の会合等で説明会を実施する必要があるのではないだろうか。
③つながる	・関係する団体等との程度つながることができたか ○キットの配布は、町内会のみならず民生委員・児童委員とも連携が必要となるため、自然と連携が図れた。	3	○今後も小地域ネットワーク活動を通じて、つながりを強化していく。
④伝える	・どのくらいきずなを伝えることができたか ○この活動を通じて、日頃の備えの大切さを伝える事は出来た。	3	○継続して、活動が広められるよう取り組みが必要。
⑤高める	・地域をよりよくすることにつながったか ○日頃からの備えや、見守り体制の強化等を図ることができた。	4	○継続が必要



登別小学校区

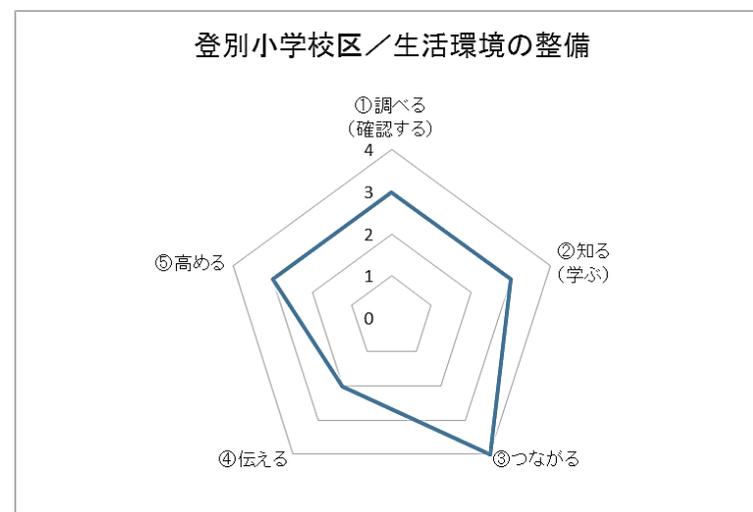
③居場所・相談・つながりづくりの推進

評価指標	内容	点数	平成29年度に向けて
①調べる (確認する)	・校区の実態を確認することができたか ○サロンは5か所、会食会は14単位町内会(実施率約78%)にて実施されている。	4	○継続して活動を行う。
②知る (学ぶ)	・知る・学ぶ機会を設けることができたか ○サロンや会食会において、日頃接する機会の少ない方との交流や接点を持つことができた。	3	○継続して活動を行う。
③つながる	・関係する団体等との程度つながることができたか ○地域包括支援センターなどの職員にも参加してもらうことで、役員のみならず地域住民との関わりを深めることができた。	3	○継続して関係機関・団体等にも協力をもらいながら進めていく。
④伝える	・どのくらいきずなを伝えることができたか ○会食会時に共同募金配分金による助成の周知を依頼している。	3	○それぞれの活動がきずなの一環であることを参加者のみならず携わる方々にも理解してもらう必要がある。
⑤高める	・地域をよりよくすることにつながったか ○互いに地域の貴重な居場所、ふれあいの機会として根付いている。	4	○継続して活動を行う。



④生活環境の整備

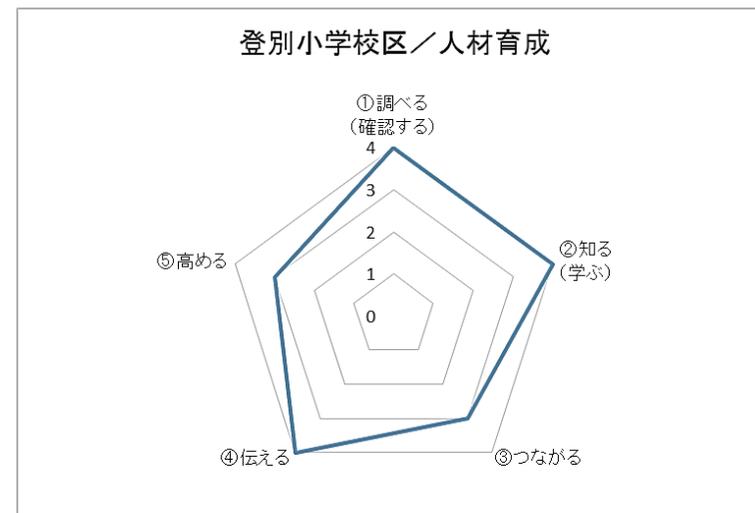
評価指標	内容	点数	平成29年度に向けて
①調べる (確認する)	・校区の実態を確認することができたか ○校区計画に定める活動は未実施だが、鍵預かりサービスを実施した。(利用者5名、事業協力員48名)	3	○鍵預かりサービスについては、今後も必要とする方の発掘等を継続する。 ○計画に定める活動については、市の動向も見ながら慎重に進める必要がある。
②知る (学ぶ)	・知る・学ぶ機会を設けることができたか ○事業説明会等により、周知の機会を設けることができた。	3	○今後も説明等を行いながら、サービスを拡大していく。
③つながる	・関係する団体等との程度つながることができたか ○鍵預かりサービスにより、校区内施設との関わりが出来た。	4	○今後も関係機関・団体等との連携を行いながら、継続していく。
④伝える	・どのくらいきずなを伝えることができたか ○この項目において、きずなを伝える機会があまりなかったが、日頃からの備えの重要性を伝える機会とはなった。	2	○活動を通じて、日頃からの備えが必要であるということを継続して伝えていく必要がある。
⑤高める	・地域をよりよくすることにつながったか ○地域間の関係性や安心の担保に寄与することができた。	3	○今後も継続して活動をしていく。



登別小学校区

⑤人材育成

評価指標	内容	点数	平成29年度に向けて
①調べる (確認する)	・校区の実態を確認することができたか ○お茶の間会議の開催により、中学生との想いや考えの共有をすることができた。	4	○校区委員会で検討し、学校とも連携しながら行っていく。
②知る (学ぶ)	・知る・学ぶ機会を設けることができたか ○地域の実情や福祉活動の大切さを学ぶことができた。	4	○校区委員会で検討し、学校とも連携しながら行っていく。
③つながる	・関係する団体等との程度つながることができたか ○中学校関係者とのつながりを持つことができた。	3	○校区委員会で検討し、学校とも連携しながら行っていく。
④伝える	・どのくらいきずなを伝えることができたか ○会議において、地域住民から活動の大切さを伝えることができた。	4	○校区委員会で検討し、学校とも連携しながら行っていく。
⑤高める	・地域をよりよくすることにつながったか ○中学生に福祉活動を伝える機会となり、今後地域をよくすることにつながるのではないだろうか。	3	○校区委員会で検討し、学校とも連携しながら行っていく。



校区きずな推進委員

リーダー	田畑 恒義	きずな推進委員	吉岡 政美	きずな推進委員	飯島 武
サブリーダー	桶屋 純一	きずな推進委員	成田 光男	きずな推進委員	山口富智子
サブリーダー	伊藤 芳雄	きずな推進委員	田代 健二	きずな推進委員	柳瀬 雅俊
きずな推進委員	日野 安信	きずな推進委員	勝間 広靖	きずな推進委員	和田 卓士
きずな推進委員	中川 信市	きずな推進委員	須賀 武郎	きずな推進委員	太田 憲明
きずな推進委員	畠山 基子				

重点項目実績

1. 校区活動

時期	名称	人数	内容
7月20日	第1回登別小学校区きずな推進委員会	8	リーダー・サブリーダーの選出について 鍵預かりサービスについて 第2期計画の評価について
11月16日	第2回登別小学校区きずな推進委員会	5	住民座談会について 今後のスケジュールについて

時期	名称	人数	内容
12月14日	登別小学校区住民座談会	38	第3期きずな計画説明と校区の取り組み 情報交換会「わたしが行う地域福祉活動(きずな活動)」

2. 日頃からの見守り・訪問・声かけ（小地域ネットワーク活動、ふれあい会食会）

小地域ネットワーク活動

登別温泉地区連合町内会	登別東町第三町会	登別東町第5町会
中登別町内会	登別東町第4町会	登別本町会
登別東町2町会	実施率	61% (11 / 18)

ふれあい会食会

登別温泉地区連合町内会	登別東町2町会	登別東町第5町会
新登別町内会	登別東町第三町会	登別本町会
中登別町内会	登別東町第4町会	登別本町2町会
登別東町一町会	実施率	78% (14 / 18)

3. 居場所・相談・つながりづくりの推進（ふれあい・いきいきサロン）

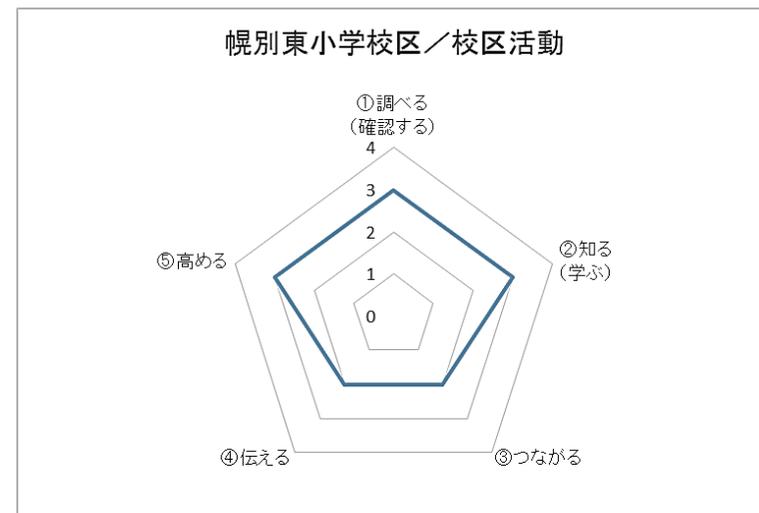
ふれあい・いきいきサロンこだま	登別東町第5町会ふれあいサロン
東町2町会いきいきサロン	ふれあいサロン花園
登別東町第三町会ふれあいサロン	みどり会

幌別東小学校区

幌別東小学校区

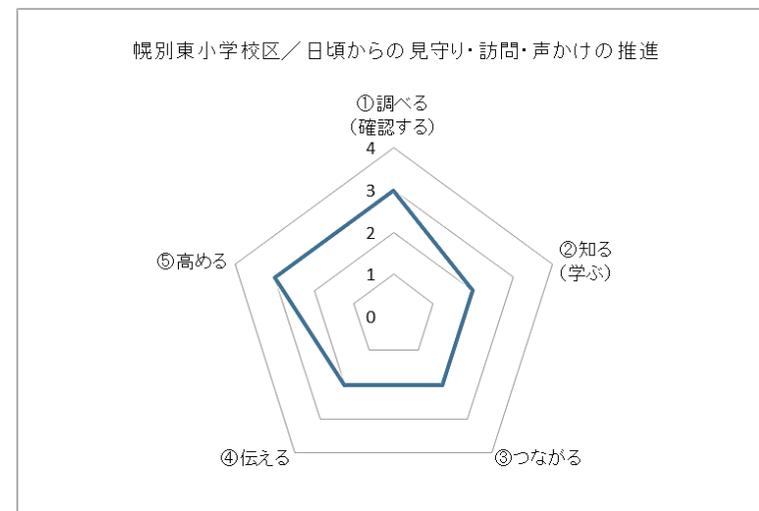
①校区活動

評価指標	内容	点数	平成29年度に向けて
①調べる (確認する)	・校区推進委員会や、地区定例会議を通して、状況の確認を行った。	3	・各種会議の継続的な開催。
②知る (学ぶ)	・住民座談会等を通して、地区内で行われている活動の周知を図った。	3	・住民座談会の継続的かつ効果的な開催。
③つながる	・各種取り組みにおいて関係機関との連携を図ったが、不十分であったように感じる。	2	・関係機関を交えた会議の開催により、お互いの役割の確認や関係性の構築を行う。
④伝える	・1つ1つの取り組みは広まっているように感じるが、「きずな」というものを伝えられていたかどうかは不十分である。	2	・取り組みの必要性を伝えながら、広めていく。
⑤高める	・各種会議等において情報共有を図ったことにより、お互いの意識を高め合う結果につながった。	3	・実践活動を幅広く推進していくため、校区の単位町内会、民生委員・児童委員、老人クラブ、PTA、NPO法人、地域包括支援センター等を行う住民座談会を開催する。



②日頃からの見守り・訪問・声かけの推進

評価指標	内容	点数	平成29年度に向けて
①調べる (確認する)	・小地域ネットワーク活動を通じて、校区内の要支援者の状況を確認することができた。	3	・継続して実施する。
②知る (学ぶ)	・住民座談会等により、活動の状況を知る機会を設けた。 ・住民座談会において、警察からの講話を設けることにより、犯罪に関する注意喚起を図った。	2	・継続して実施する。
③つながる	・把握した情報により、専門機関と連携を図りながら推進したかったが、不十分であった。	2	・平常時から災害時の備えとして関係構築を進めていきたい。
④伝える	・役員には内容も理解してもらいながら進めることができた。 ・住民に取り組みの必要性を理解されているかどうかは不十分であった。	2	・少しずつ地域にしっかりと理解を求めていきたい。
⑤高める	・地域内の互助関係の構築につながった。	3	・キット配布後の対応策を進めていきたい。

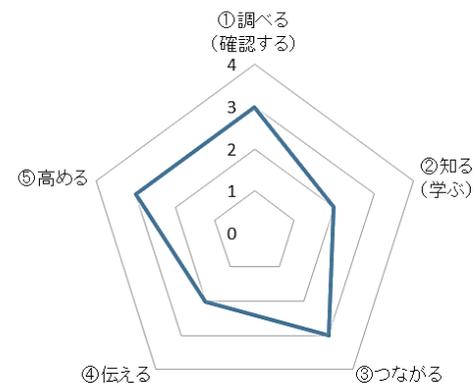


幌別東小学校区

③居場所・相談・つながりづくりの推進

評価指標	内容	点数	平成29年度に向けて
①調べる (確認する)	・サロンの継続的な開催により、地域の状況を確認することができた。	3	・継続して実施する。
②知る (学ぶ)	・ゆめみ～るの利用周知に努めることができた。	2	・継続して周知を行う。
③つながる	・懇談会や会合等を通じて、関係各所とつながりを持つことができた。	3	・地域での孤立の防止のために、関係機関とのネットワーク構築を継続して行う。
④伝える	・安定した活動を行うことはできたが、活動においてきずなを伝えるにはいたらなかった。	2	・きずな活動が地域での孤立・孤独の防止に寄与することを伝えていく。
⑤高める	・サロンやゆめみ～るを地域の居場所・拠点としたことで、地域力の向上につながった。	3	・高齢者や障がい者の地域での孤立を防止するために、実践活動に力を入れる。

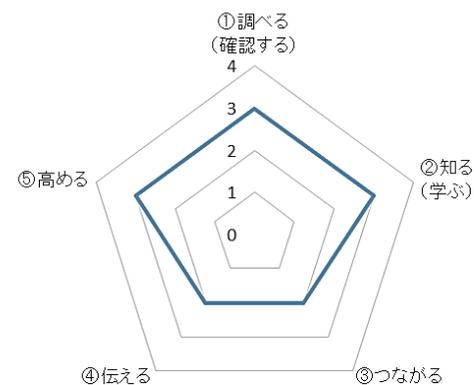
幌別東小学校区／居場所・相談・つながりづくりの推進



④地域交流の促進

評価指標	内容	点数	平成29年度に向けて
①調べる (確認する)	・世代間交流を通して、地域の状況や世代間での考え方の共有を行った。	3	・継続して活動を進める。
②知る (学ぶ)	・世代間交流において、お互いの考え方を知る機会になった。 ・各種行事への参加を通して、活動の周知を行った。	3	・継続して活動を進める。
③つながる	・行事への参加により、関係機関等とのつながりを持つことができた。	2	・関係機関とのつながりをより強くするために、積極的に進める。
④伝える	・活動を積極的に進めることはできたが、きずなをきちんと伝えるには至らなかった。	2	・日頃を行っている活動が、きずなに通ずるものであることを伝えていく。
⑤高める	・高齢者の生きがいづくり、孤立防止に寄与することができた。	3	・高齢者、障がい者に地域での各種行事への積極的な参加を促し、世代間交流を通して生きがいを感じる地域づくりを進める。

幌別東小学校区／地域交流の促進



幌別東小学校区

校区きずな推進委員

リーダー	森 芳昭	きずな推進委員	對馬 敬子
サブリーダー	田渕 利男	きずな推進委員	竹中 洋子
サブリーダー	鳴海 文昭	きずな推進委員	杉尾 直樹
きずな推進委員	松原 憲康	きずな推進委員	渡辺 麗子

重点項目実績

1. 校区活動

時期	名称	人数	内容
2月11日	幌別東小学校区住民座談会	48	移動支援サービスモデル事業の取り組みと進捗状況について 小地域ネットワーク活動について 幌別鉄南地区の福祉について 詐欺予防について(警察署による講話)

2. 日頃からの見守り・訪問・声かけ（小地域ネットワーク活動、ふれあい会食会）

小地域ネットワーク活動

すずらん団地町内会	幌別第3町内会	幌別鉄南第7町内会
幌別第一町内会	幌別鉄南第5町内会	幌別鉄南第8町内会
幌別第二町内会	幌別鉄南第6町内会	

実施率 100% (8 / 8)

ふれあい会食会

すずらん団地町内会	幌別鉄南第5町内会
幌別第二町内会	幌別鉄南第8町内会
幌別第3町内会	

実施率

63%

(5 / 8)

3. 居場所・相談・つながりづくりの推進（ふれあい・いきいきサロン）

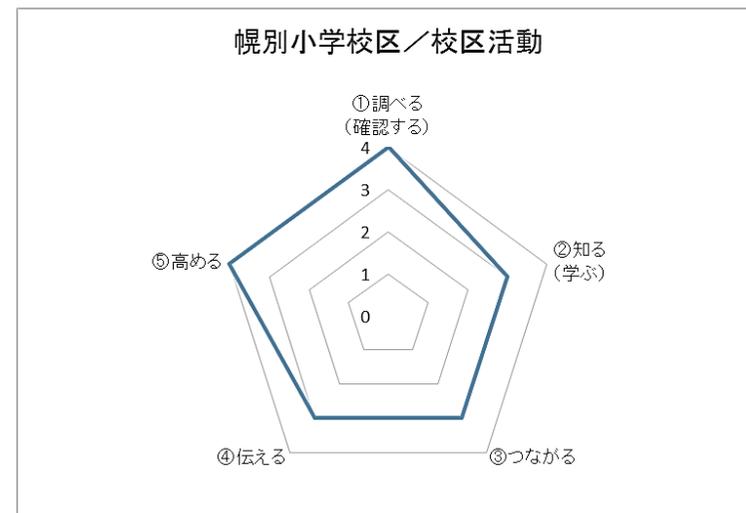
てつなん	いきいきサロン 一刻者
いきいきサロン ききょう	

幌別小学校区

幌別小学校区

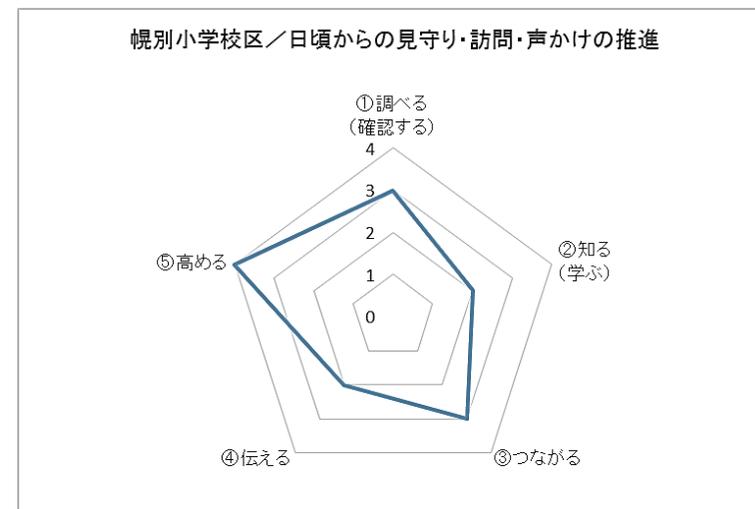
①校区活動

評価指標	内容	点数	平成29年度に向けて
①調べる (確認する)	●校区推進委員会や住民座談会を通じて、校区の実態を確認し合うことができた。	4	●継続して実施する。
②知る (学ぶ)	●校区推進委員会や住民座談会により、校区内の取り組み状況や事例を知ることができた。	3	●校区内における新鮮な情報を各会議において知る機会を設ける。
③つながる	●校区推進委員会や住民座談会により、普段顔を合わせる機会が少ない者同士の接点を設けることができた。	3	●地域住民だけではなく、関係機関・団体等とのつながりを持つことができるよう推進していく。
④伝える	●校区内の良い取り組みを伝えることができた。 ●住民座談会の開催により、きずなの取り組みを広く伝えることができた。	3	●各種会議等において、きずなの取り組みを随時伝えていく。
⑤高める	●住民座談会で知った取り組みを実際の活動に移行させることができた。	4	●今後も地域力を高めることができるよう、継続して行う。



②日頃からの見守り・訪問・声かけの推進

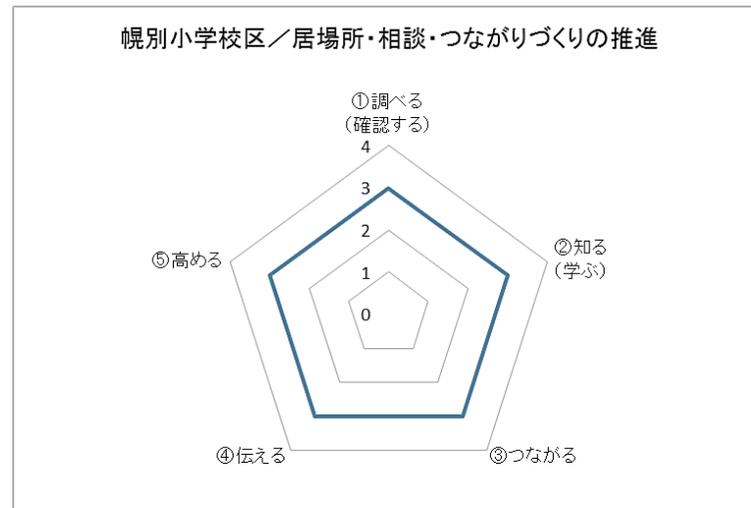
評価指標	内容	点数	平成29年度に向けて
①調べる (確認する)	●活動を通じて、校区内の要支援者の把握に努めることができた。	3	●継続して実施する。
②知る (学ぶ)	●住民座談会や個別の説明会により、活動の情報を知る機会を設けた。 ●機会は設けたものの、浸透までには至っていない。	2	●個別の説明会の実施強化などにより、地域に対し理解を求め、活動実施につなげる。
③つながる	●福祉委員や民生委員と地域住民のつながりづくりに寄与することができた。	3	●地域住民同士や関係機関・団体等のつながりづくりに継続して努める。
④伝える	●役員や福祉委員等に対してはきずなの一環であることの周知は図れているが、地域住民に対しては浸透していない様である。	2	●ただ配布して終わりにするのではなく、きちんと取り組みの必要性を理解してもらいながら進めていく。
⑤高める	●活動を通じて、地域住民同士の互助関係の構築に寄与することができた。 ●今年度新たに1町内会の参加があった。	4	●校区内全町内会の実施に向け、継続して推進していく。



幌別小学校区

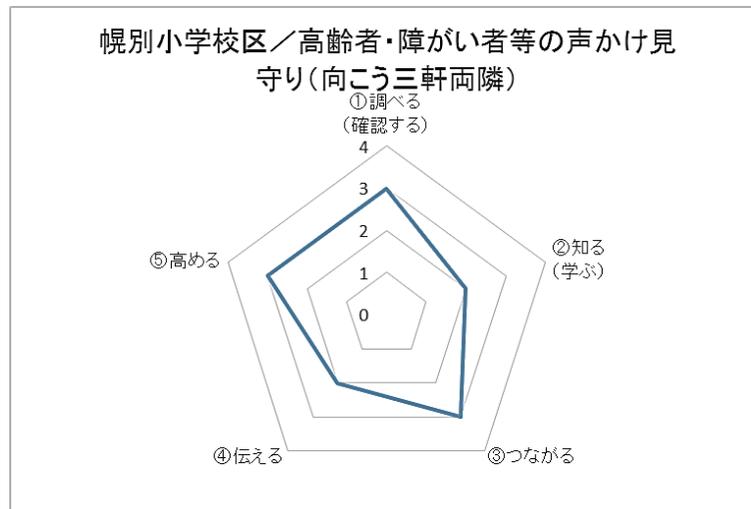
③居場所・相談・つながりづくりの推進

評価指標	内容	点数	平成29年度に向けて
①調べる (確認する)	●サロン活動を通じて、地域や支援対象者の状況を確認することができた。	3	●今後も継続して推進する。
②知る (学ぶ)	●住民座談会により、活動状況を知る機会を設けた。 ●サロン内においても、地域の状況等を知る機会を設けながら実施することができた。	3	●地域の情報共有の場として推進していく。
③つながる	●サロン内において、参加者同士のつながりづくりを図った。	3	●参加者同士のほかにも、関係機関団体等とのつながりづくりに寄与出来るように推進していく。
④伝える	●活動を通じて、地域内で集うことの大切さを伝えることができた。	3	●地域になぜサロンが必要なかを相互に理解しながら推進する。
⑤高める	●平成28年度は2ヵ所新規開設が増え、地域の気運が高まっているとともに、地域の居場所や介護予防の拠点の整備が進んでいる。	3	●サロンを通じて、地域の支え合い体制づくりが進むよう推進していく。



④高齢者・障がい者等の声かけ見守り（向こう三軒両隣）

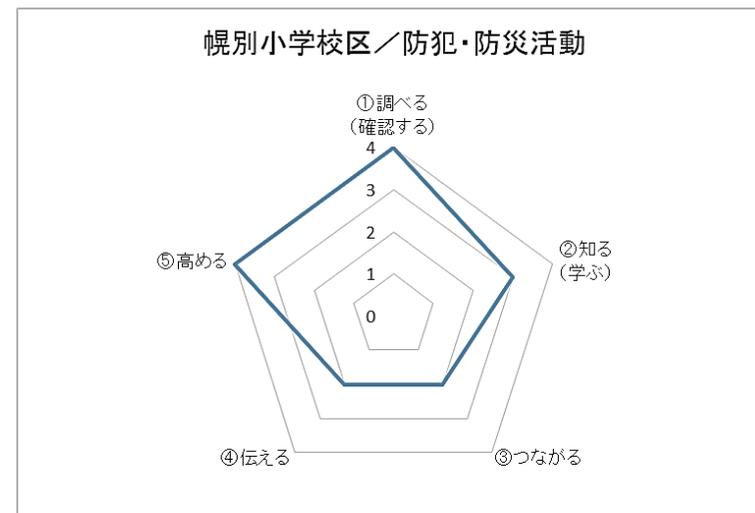
評価指標	内容	点数	平成29年度に向けて
①調べる (確認する)	●日頃の見守り活動において、地域の状況を確認することができた。	3	●継続して活動を行う。
②知る (学ぶ)	●各々の活動は行っているが、全体で知る場を設けることができなかった。	2	●校区支え合い情報交換の場を設定することで、日頃活動している実践者の意思疎通を図る。
③つながる	●各々の活動において、地域包括支援センター等とつながることはできた。	3	●専門職を交えた情報交換の場を設定する。
④伝える	●日頃の見守り活動の必要性を地域住民に対し伝える機会が不足していた。	2	●見守り活動の必要性をしっかりと認識したうえで取り組みを進める。 ●見守りを拒否する人への働きかけ方を検討する。
⑤高める	●地域に周知が不足していたが、着実に地域をよくすることにはつながっている。	3	●それぞれの地域に即した内容で取り組みを進める。 ●あいさつボランティア養成研修会や交通マナー講座などにより、地域住民の意識を高める。 ●登別で推進されている事業や取り組みを活用していく。



幌別小学校区

⑤防犯・防災活動

評価指標	内容	点数	平成29年度に向けて
①調べる (確認する)	●登下校見守りパトロール等の活動により、子どもたちだけではなく、地域の状況を確認することができた。	4	●パトロールについては継続して行う。 ●情報交換の場を設定し、意見交換を行う。
②知る (学ぶ)	●活動自体が目に見えるため、地域住民に対しても知る機会となっている。	3	●活動者だけの情報交換だけでなく、広く地域住民を対象にした場を設け、お互いの意見を交換する。
③つながる	●警察等とも連携を図りたいが、難しい状況であった。 ●学校とはつながりを強くすることができた。	2	●情報交換の場に専門機関にも声をかけ、一体的に活動に取り組むことが出来る様整備を進める。
④伝える	●日頃の活動を通じて防犯・防災活動の必要性を伝えることができた。 ●しかし、活動者の想い等を伝える機会を設けることはできなかった。	2	●活動者だけの情報交換だけでなく、広く地域住民を対象にした場を設け、お互いの意見を交換する。
⑤高める	●パトロールによって、学校前の駐車が減ったことは、成果である。	4	●継続して行うとともに、必要だと思う取り組みを積極的に推進する。



校区きずな推進委員

リーダー	畑山 功一	きずな推進委員	伊清 淳彦	きずな推進委員	脇 俊昭
サブリーダー	畠山 重信	きずな推進委員	前野充紀子	校区きずな推進委員	及川 富夫
サブリーダー	竹中 脩巖	きずな推進委員	森 正信	校区きずな推進委員	武藤 紀康
サブリーダー	山崎 敏男	きずな推進委員	八島 年勝	校区きずな推進委員	今 平人
きずな推進委員	千葉 一男				

重点項目実績

1. 校区活動

時期	名称	人数	内容
7月15日	第1回幌別小学校区きずな推進委員会	11	第2期計画の評価について 今年度の取り組み内容について
10月19日	第2回幌別小学校区きずな推進委員会	10	住民座談会について 今後のスケジュールについて
3月14日	第3回幌別小学校区きずな推進委員会	12	住民座談会報告について 平成28年度の評価について 次年度の取り組み内容について

時期	名称	人数	内容
12月8日	幌別小学校区住民座談会	41	第3期きずな計画説明と校区の取り組みについて 情報交換会「高齢者・障がい者等への声かけ見守り活動(向こう三軒 両隣)」

2. 日頃からの見守り・訪問・声かけ（小地域ネットワーク活動、ふれあい会食会）

小地域ネットワーク活動

千歳町内会	中央町駅前町内会	中央新生町内会
南千歳町内会	中央町十字街町内会	緑ヶ丘町内会
常盤町内会	中央町内会	新栄町内会

実施率 50% (9 / 18)

ふれあい会食会

千歳町内会	二ナルカ町内会	中央町内会
緑ヶ丘町内会	常盤町内会	中央東町内会
南千歳町内会	中央町十字街町内会	

実施率 44% (8 / 18)

3. 居場所・相談・つながりづくりの推進（ふれあい・いきいきサロン）

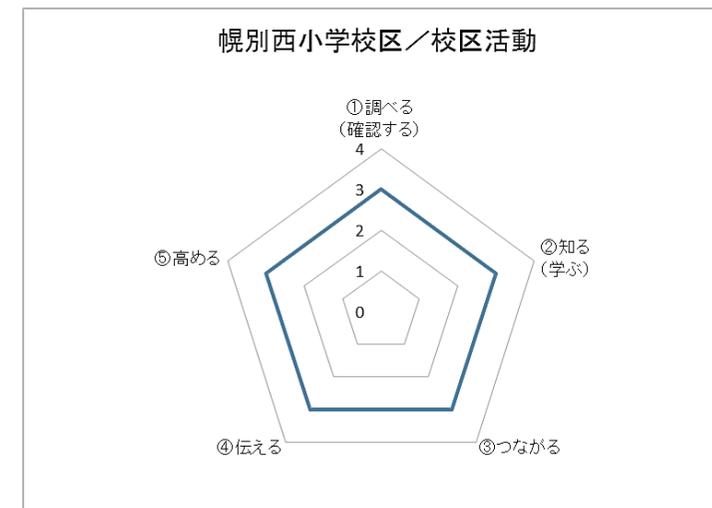
われら、いきいき探偵団	常盤ラポール・サロン	ゲンキアップニナルカ
中央東町内会いきいきサロン	ときわ常楽サロン	南千歳町内会いきいきサロン
中央新生町内会いきいきサロン		

幌別西小学校区

幌別西小学校区

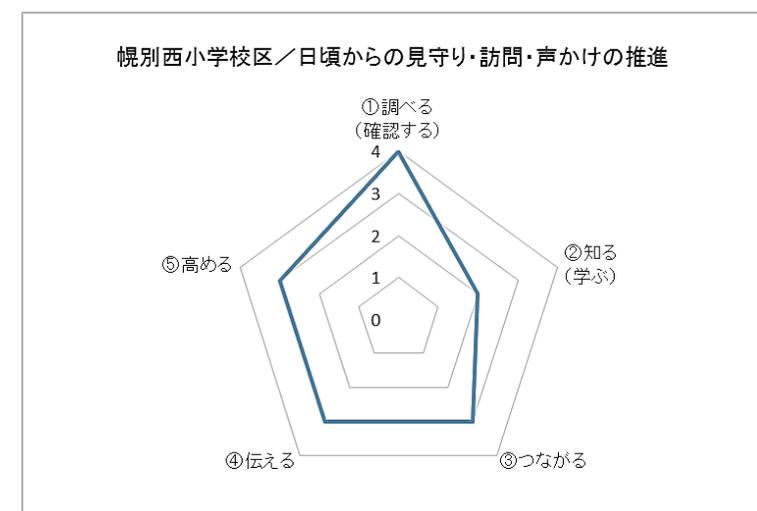
①校区活動

評価指標	内容	点数	平成29年度に向けて
①調べる (確認する)	「独居高齢者・認知症高齢者の声かけ見守り活動」をテーマに住民座談会を開催し、各地区の現状や取り組み内容等について確認することが出来た。	3	継続して、各種会議等を開催する。
②知る (学ぶ)	回数は少ないものの、住民座談会を開催し各地区の見守り状況や他町内会の活動について知る機会を設けた。	3	住民座談会を通して地域の実情把握を行う。
③つながる	住民座談会及びびぎずな推進委員会を通して、各町内会や民生委員とのつながる機会を設けた。また、新たに7名の推進委員が加わり、各地区との連携が図りやすくなった。	3	今後も各関係機関(専門職等)に住民座談会への参加を促す。
④伝える	地区連を通して町内会役員にびぎずなを周知する機会を設けた。新たな推進委員が加わったことで、各単位町内会に対してびぎずなへの理解を促すきっかけ作りとなった。	3	新たな推進委員も含め、各地区の状況確認及びびぎずなの普及を進める。
⑤高める	住民座談会の開催、新たな推進委員の加入等もあり、一定以上の取り組みは出来た。	3	推進委員会内において各地区の状況確認を行いながら、地域ニーズを明らかにしていく。



②日頃からの見守り・訪問・声かけの推進

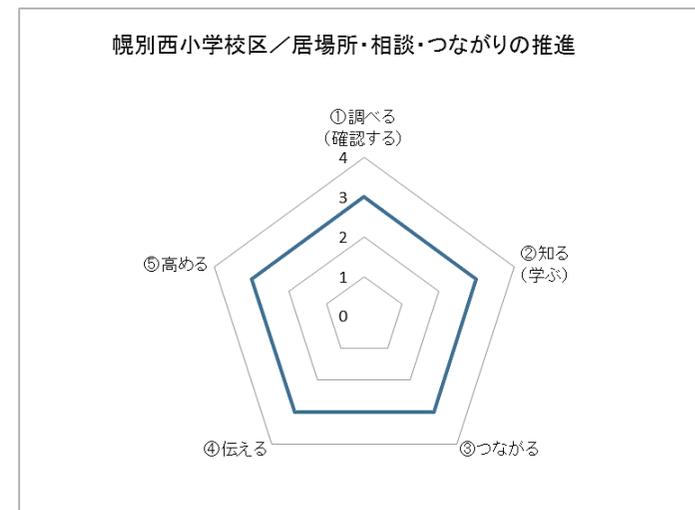
評価指標	内容	点数	平成29年度に向けて
①調べる (確認する)	校区内13単位町内会の内、10町内会にて取り組まれている。全市の割合からみても高い実施率である。	4	校区内町内会への改めての周知、開拓を進める。
②知る (学ぶ)	住民座談会で各地区との意見交換を行い、取り組み状況や現状を確認した。	2	継続して行う。
③つながる	新推進委員が加わったことで、各地区の現状及び状況把握、連携が図りやすくなった。	3	継続して、活動が広まるよう取り組む必要がある。
④伝える	新推進委員が加わったことで、本活動が各地区へ伝わる経路を作ることができた。	3	継続して行う。
⑤高める	各地区との意見交換を通じて取り組みを知り、日頃の見守り体制等の強化を図ることが出来た。	3	継続して行う。



幌別西小学校区

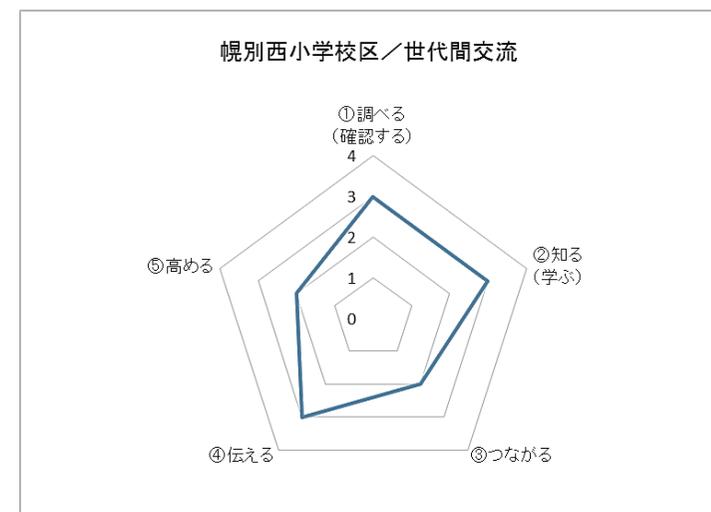
③居場所・相談・つながりづくりの推進

評価指標	内容	点数	平成29年度に向けて
①調べる (確認する)	新規サロンの設立はないが、既存サロンの活動は定期的に行われている。	3	継続して行う。
②知る (学ぶ)	サロン活動等を行うことで、独居高齢者や日頃関わりが少ない方との接点を持つことが出来た。	3	継続して行う。
③つながる	民生委員等に参加してもらうことで、地域住民との関わりを深めることが出来た。	3	関係機関(特に専門職)にも協力をもらえるよう働きかける。
④伝える	日頃の福祉活動がきずな活動でもあるが、普及及び浸透としては不十分である。	3	各者の活動がきずなとしての活動でもあることを携わる方々に理解してもらう必要がある。
⑤高める	支援者、利用者ともに地域の居場所としての機能している。	3	継続して行う。



④世代間交流

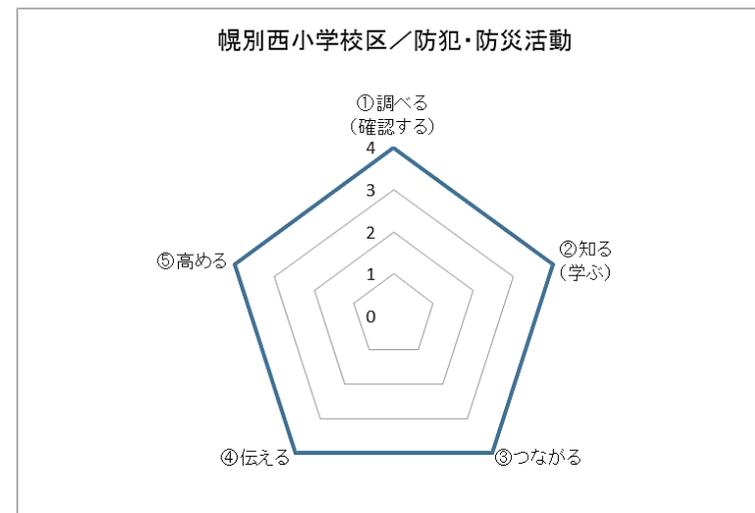
評価指標	内容	点数	平成29年度に向けて
①調べる (確認する)	各地区ごとに季節行事等を通して世代間交流を図っている。また、対象者を絞った行事等により若い世代との関わりを持つことも出来た。	3	継続して行う。
②知る (学ぶ)	子育てサロン等において、若い世代との交流や接点を持つことが出来た。	3	継続して行う。
③つながる	さらに町会行事等への参加や子育てサロンへの支援・協力を進めていく。	2	各地区での実情を交換し合い、互いを高め合っていく必要がある。
④伝える	各地区ごとに活動の幅がある為、住民座談会や推進委員会を通して情報共有を図る。	3	継続して行う。
⑤高める	直接的な改善や効果ははっきりとは見えていないが、関わりを持つためのきっかけ作りは行えたのではないかと。	2	継続して行うとともに、対象者の意見等を集約できるような場を検討する。



幌別西小学校区

⑤防災活動

評価指標	内容	点数	平成29年度に向けて
①調べる (確認する)	西地区連全体での避難訓練及び住民座談会において、他地区の防災意識や取り組み状況について確認できた。	4	継続して行う。
②知る (学ぶ)	地区ごとに年2回程度、各施設や老人クラブ等の防災訓練を行い、知識及び意識向上に繋がった。	4	継続して行う。
③つながる	住民座談会や西地区連全体での避難訓練時等に意見交換や他地区との連携を図れた。	4	今後は学校や専門機関等も含めて、広域な人たちとも関わりを持ちたい。
④伝える	住民座談会や西地区連全体で各地区での取り組みを知る機会となり、推進委員が加わることでより活動内容の浸透を図ることが出来た。	4	継続して行う。
⑤高める	地域の高齢者等だけでなく、児童も取り組めるよう各地区での周知に努めた。	4	継続して行う。



校区きずな推進委員

リーダー	島田 幸一	きずな推進委員	宮地 真治	きずな推進委員	村井 寿行
サブリーダー	鈴木 尚美	きずな推進委員	工藤 章造	きずな推進委員	中田 咲江
サブリーダー	石山 典子	きずな推進委員	岡田 敏治	きずな推進委員	木村 俊子
きずな推進委員	三浦 忠夫	きずな推進委員	小沢裕美子	きずな推進委員	細川 重雄
きずな推進委員	太田 通	きずな推進委員	内山 雅義	きずな推進委員	楠本 賢一
きずな推進委員	伊藤 信一				

重点項目実績

1. 校区活動

時期	名称	人数	内容
8月22日	第1回幌別西小学校区きずな推進委員会	8	リーダー・サブリーダーの選出について 第2期計画の評価について 第3期計画の取り組み内容について
10月31日	第2回幌別西小学校区きずな推進委員会	9	住民座談会について 今後のスケジュールについて

時期	名称	人数	内容
11月16日	幌別西小学校区住民座談会	41	第3期きずな計画説明と校区の取り組みについて 情報交換会「独居高齢者・認知症高齢者の声かけ見守り活動について考えよう」

2. 日頃からの見守り・訪問・声かけ（小地域ネットワーク活動、ふれあい会食会）

小地域ネットワーク活動

柏木町内会	新川町内会	新和会
柏木団地町内会	西団地町内会	香風町会
望洋団地町内会	プレハブ町内会	山手町内会
片倉町内会	実施率 77% (10 / 13)	

ふれあい会食会

柏木町内会	新川第二町内会	片倉町内会
柏木団地町内会	香風町会	西団地町内会
新和会	望洋団地町内会	
実施率 62% (8 / 13)		

3. 居場所・相談・つながりづくりの推進（ふれあい・いきいきサロン）

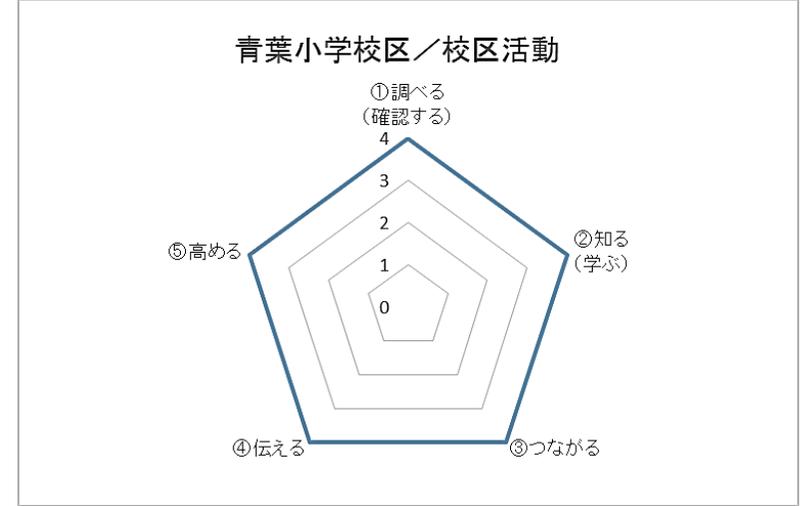
サロン皆の衆	ふれあいサロン
風と共に歩こう会	なのはな会
香風町会ふれあいサロン	

青葉小学校区

青葉小学校区

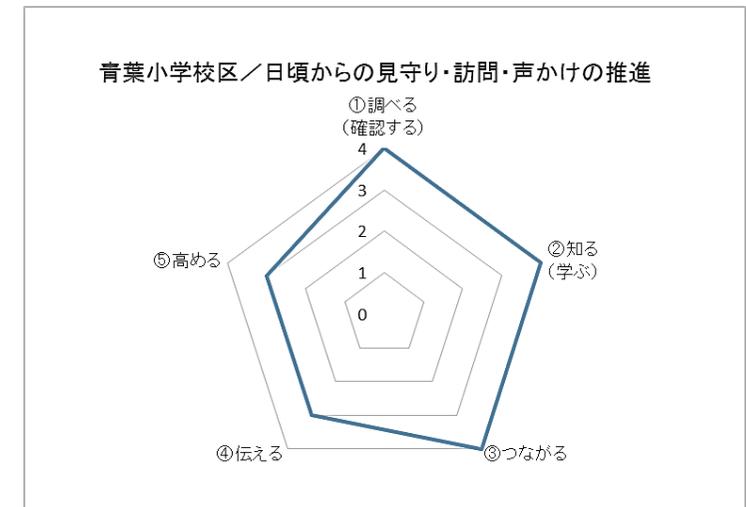
①校区活動

評価指標	内容	点数	平成29年度に向けて
①調べる (確認する)	○校区の実態を確認することができたか ・各町内会ごとの推進状況や取り組み等を把握しながら地域間の情報を実践活動に活かしている。 ・現在、小地域ネットワーク活動は、11町内会中7町内会が実施、また、独自で1町内会実施…実施率は、63.6%(社協調べ)を住民座談会を通して確認した。 ・校区推進委員会会議3回開催	4	・引き続き実施したい。
②知る (学ぶ)	○知る・学ぶ機会を設けることができたか ・住民座談会(青葉地区連主催)を開催した。テーマ「第3期きずな 実践計画」を展開するには…特に、校区計画はもとより全市計画について議論した。	4	・引き続き実施したい。
③つながる	○関係する団体等との程度つながることができたか ・本校区の推進委員会は、地区連福祉部と兼ねた組織体制で行っている為、校区内の福祉部とつながっている。また、地区連役員会においてもきずな計画の推進状況等を報告し、各町内会長に理解と協力を求めた。	4	・老人クラブなど高齢者や介護施設等との関わり方を具体的な意見交換を行い、福祉活動を共有する機会を持つ必要がある。従来からの諸団体とは継続的に関わる。
④伝える	○どのくらいきずなを伝えることができたか ・住民座談会を通してきずな計画について学ぶ機会を設け、校区内の町内会役員等にきずな計画を伝えることができた。	4	・組織的な役員と地域の一人ひとりの関わりや活動等の展開を考える必要がある。
⑤高める	○地域をよりよくすることにつながったか ・住民座談会や推進委員会を通し、情報交換することで、日々の福祉活動に対する意識を高める場となっている為、会議を行う役割は大きい。	4	・引き続き実施したい。



②日頃からの見守り・訪問・声かけの推進

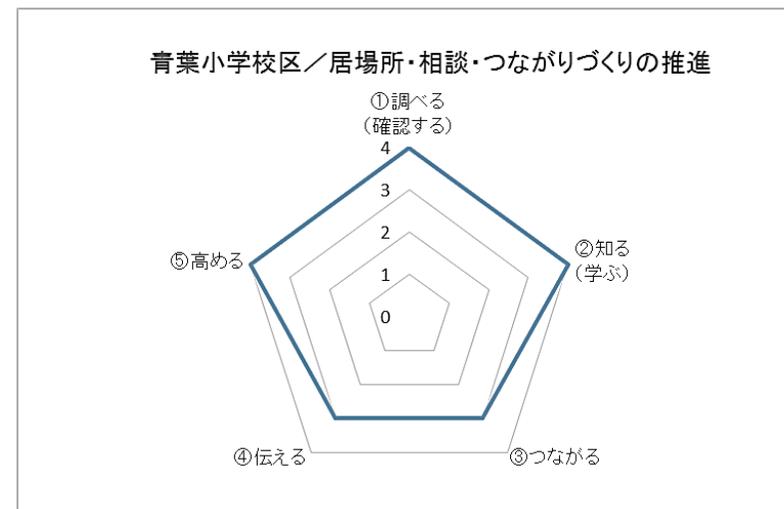
評価指標	内容	点数	平成29年度に向けて
①調べる (確認する)	○校区の実態を確認することができたか ・現在、11町内会中7町内会が実施。 また、独自で1町内会実施。 実施率は、校区内で63.6%ということを確認した。	4	・小地域ネットワーク活動の実施町内会100%を目指す取り組みを図る。 更に、地区連で平成29年度の事業計画に織り込む。
②知る (学ぶ)	○知る・学ぶ機会を設けることができたか ・校区推進委員会や住民座談会等で小地域についての説明する場を設けた。	4	・引き続き実施したい。
③つながる	○関係する団体等との程度つながることができたか ・本校区は、地区連福祉部が推進委員となっていることもあり、現状及び状況把握や連携が図りやすい。	4	・従来からの諸団体とは継続的に関わり、高齢者や介護施設等との関わり方を具体的に検討する必要がある。
④伝える	○どのくらいきずなを伝えることができたか ・小地域ネットワーク活動でも特に「安心キッド」の普及までは取り組まれているが、そこからの展開がまだまだのようだ。	3	・組織的な役員へと地域での一人ひとりへの関わりや活動等の展開を考える必要がある。
⑤高める	○地域をよりよくすることにつながったか ・小地域ネットワーク活動を中心に各種事業や行事等で説明した他、子育て中の家族や高齢者を対象としても行った結果、「きずな」の実践が校区全体に広がっている。	3	・小地域ネットワーク活動の全地域(町内会)導入を早期を目指すことを考える必要がある。 ・地域ごとで連携の取れた継続的な活動を行なう必要がある。



青葉小学校区

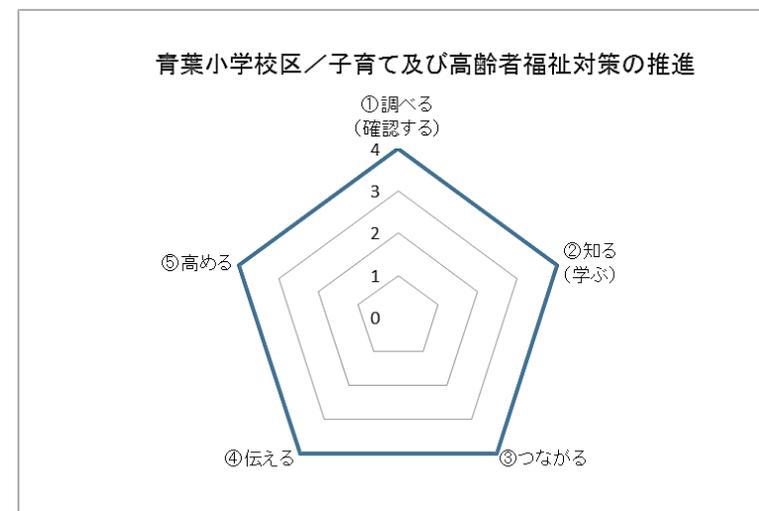
③居場所・相談・つながりづくりの推進

評価指標	内容	点数	平成29年度に向けて
①調べる (確認する)	○校区の実態を確認することができたか ・既存のサロン活動は定期的に行われている。 ・実施状況：サロン活動 6団体、ふれあい会食会 5町内会	4	・サロン活動や町内会の会食会の団体を増やす取組を推進しながら、既設団体の引き続き実施を推進する。
②知る (学ぶ)	○知る・学ぶ機会を設けることができたか ・サロン活動や会食会等を通して、独居高齢者などの関わりができた。	4	・引き続き実施を推進する。
③つながる	○関係する団体等との程度つながることができたか ・サロンサポーター連絡会等の会議に出席し、他地区で行われている状況を把握しつつ、情報交換を通して市内のサロンサポーターや関係機関と繋がることができた。	3	・次年度も様々な情報を得られるよう連絡会等に参加したい。
④伝える	○どのくらいきずなを伝えることができたか ・サロン活動や会食会等で「きずな」について話をする機会を設けているが、その受け止めは定量的には把握できないが、参加者には浸透してきているものとする。	3	・引き続き実施を推進する。
⑤高める	○地域をよりよくすることにつながったか ・サロンについては、地域の居場所として機能している。また、会食会を開催することで地域で見守りが必要な人を把握することができた。	4	・引き続き実施を推進する。



④子育て及び高齢者福祉対策の推進

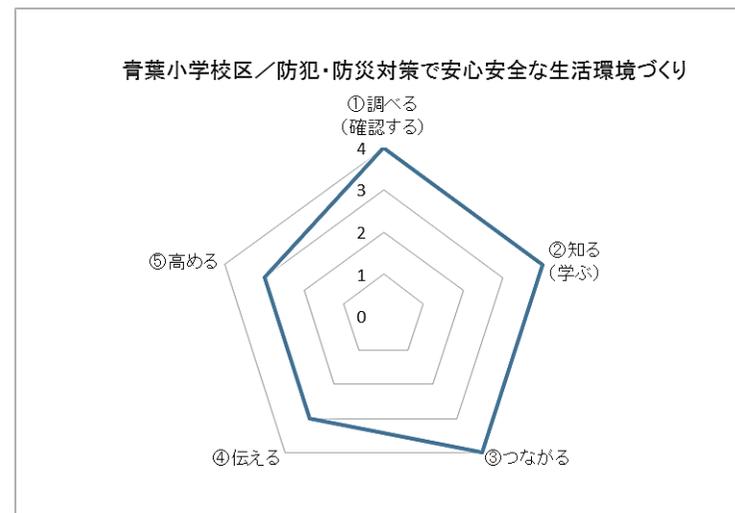
評価指標	内容	点数	平成29年度に向けて
①調べる (確認する)	○校区の実態を確認することができたか ・今年度は、特に、子供見守り活動として登下校時の声掛けや交通安全の啓発を中心に実施することができた。また、青パト車との連携も図りながら大きな活動の成果となったと考える。	4	・長年の事業として諸団体との連携で引き続き実施を推進する。 ・更には、地区連で平成29年度の事業計画に織り込む。
②知る (学ぶ)	○知る・学ぶ機会を設けることができたか ・三地区育成会を通して、不審者情報や交通安全に関する情報を入手でき、更に、防犯活動にも運動させることができたとする。	4	・引き続き実施を推進する。 ・更には、高齢者への取組について把握していく。
③つながる	○関係する団体等との程度つながることができたか ・三地区育成会(青葉小・富岸小・緑中)と連携を図りながら行なった。 ・また、その他団体として「おやじの会」「子ども見守り隊」など、更に、つながりのある活動になったと考える。	4	・引き続き実施を推進する。 ・更には、高齢者への取組について推進していく。
④伝える	○どのくらいきずなを伝えることができたか ・活動そのものがきずなの実践として定着している活動である。	4	・引き続き実施を推進する。 ・更には、高齢者への取組について推進していく。
⑤高める	○地域をよりよくすることにつながったか ・見守りパトロールを行うことで、防犯はもちろんのこと、児童や地域住民への見守りにも繋がっている。	4	・引き続き実施を推進する。 ・更には、高齢者への取組について推進していく。



青葉小学校区

⑤防犯・防災対策で安心安全な生活環境づくり

評価指標	内容	点数	平成29年度に向けて
①調べる (確認する)	○校区の実態を確認することができたか ・目標である年1回以上の実施を全町内会が行うものであったが、3町内会の実施であったことが確認した。 ・町内会の事情により毎年の実施計画になく、自主性に任せられたものとなっている。	4	・引き続き実施を推進する。
②知る (学ぶ)	○知る・学ぶ機会を設けることができたか ・地区連に独自の「自主防災連絡協議会」があり、会議の中で情報を共有できたとかんがえる。 ・今年度は、避難経路表示看板の設置について検討し、行政に要望としてまとめさせて頂いた。 ・研修として、「避難所における対策」について机上訓練に参加した。	4	・引き続き実施を推進する。
③つながる	○関係する団体等との程度つながることができたか ・主体的には、「自主防災連絡協議会」をもって、各町内会との連携を図ることとしており、十分に繋がることができたと考える。	4	・引き続き実施を推進する。
④伝える	○どのくらいきずなを伝えることができたか ・「自主防災連絡協議会」において、各町内会長・防災協力員に第3期	3	・引き続き実施を推進する。
⑤高める	○地域をよりよくすることにつながったか ・現実には、防災避難訓練の推進であるが、地区連として統一的な訓練の必要性がと考える。よって、地区連の指導性が求められたと考える。	3	・引き続き実施を推進する。



校区きずな推進委員

リーダー	田渕 純勝	校区きずな推進委員	北原 勲
サブリーダー	桑井 孝子	校区きずな推進委員	津川 正博
サブリーダー	近藤トシ子	校区きずな推進委員	川村 憲子
きずな推進委員	吉田 伸吾	校区きずな推進委員	小笠原茂雄
きずな推進委員	亀山 聖	校区きずな推進委員	遠藤 正一
校区きずな推進委員	堀尾 政江	校区きずな推進委員	垣内 博

重点項目実績

1. 校区活動

時期	名称	人数	内容
7月22日	第1回青葉小学校区きずな推進委員会	11	委員紹介及び委嘱状交付 平成27年度の事業報告 第2期計画の評価について 第3期計画の内容について 青葉地区連合町内会事業計画について
3月31日	第2回青葉小学校区きずな推進委員会	9	今年度の取り組み内容について 今年度の評価について 次年度の取り組み内容について

時期	名称	人数	内容
2月25日	青葉小学校区住民座談会	59	第3期計画を展開する為には…(きずな概要説明)

2. 日頃からの見守り・訪問・声かけ（小地域ネットワーク活動、ふれあい会食会）

小地域ネットワーク活動

西川上町内会	若緑町内会	来福町内会
新登津町内会	あかしや町内会	市営住宅桜木自治会
緑町団地町内会	実施率 64% (7 / 11)	

ふれあい会食会

桜木団地町内会	若緑町内会
西川上町内会	あかしや町内会
新登津町内会	
実施率 45% (5 / 11)	

3. 居場所・相談・つながりづくりの推進（ふれあい・いきいきサロン）

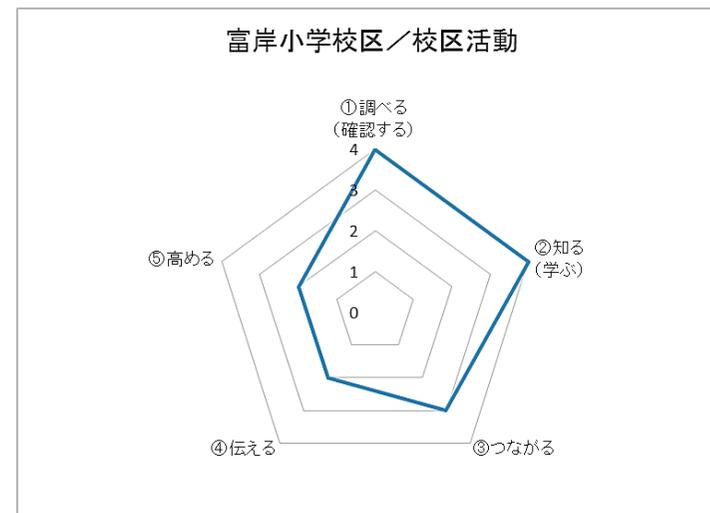
いきいきサロン桜木	いきいきサロン 結
いきいき・ふれあいサロン「アソイワ」	わかやまサロン
カラオケクラブ「シロクマ会」	若山団地サロン

富岸小学校区

富岸小学校区

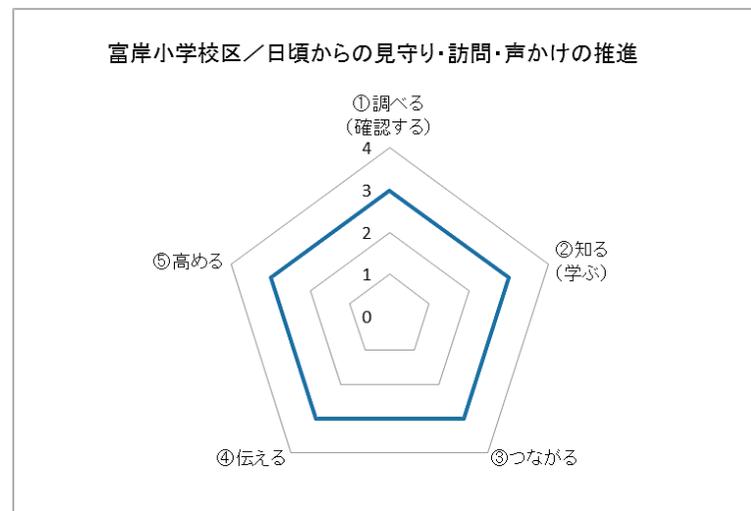
①校区活動

評価指標	内容	点数	平成29年度に向けて
①調べる (確認する)	住民座談会を開催し、各地区の現状や取り組み内容等について確認することが出来た。	4	継続して、各種会議等を開催する。
②知る (学ぶ)	回数は少ないものの、住民座談会を開催し各地区の見守り状況や他町内会の活動について知る機会を設けた。	4	住民座談会を通して地域の実情把握を行うとともに、回数を増やしていくことが必要。
③つながる	住民座談会及びきずな推進委員会を通して、各町内会や民生委員、地域包括支援センター等とのつながる機会を設けた。	3	今後も各関係機関(専門職等)に住民座談会への参加を促す。
④伝える	住民座談会は行ったが、様々な形で広げる機会を作ることが出来なかった。	2	住民座談会及び町会等へのアプローチも行っていく。
⑤高める	現段階ではインフラづくりであり、更に活動を行っていく必要がある。	2	住民座談会及び町会等へのアプローチも行っていく。



②日頃からの見守り・訪問・声かけの推進

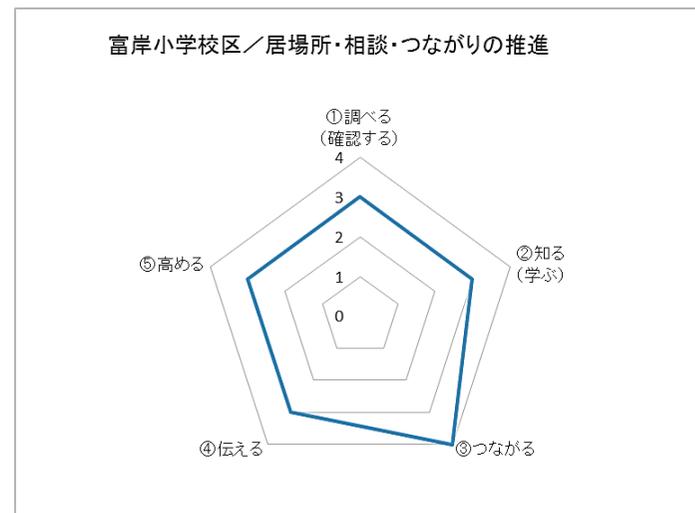
評価指標	内容	点数	平成29年度に向けて
①調べる (確認する)	小地域ネットワーク活動を進めており、つながりづくりが概ね出来ている。	3	校区内町内会への改めての周知、開拓を進める。
②知る (学ぶ)	住民座談会で各地区との意見交換を行い、取り組み状況や現状を確認した。	3	継続して行う。
③つながる	地域包括支援センター等の専門職とのつながりはできてきている。更に町会等にもアプローチをしていく。	3	継続して、活動が広まるよう取り組む必要がある。
④伝える	小地域ネットワーク活動の普及を継続していく。	3	継続して行う。
⑤高める	日常的な安否確認の基盤づくりを進めている最中であり、各地区でのアプローチについて確認を行う必要がある。	3	継続して行う。



富岸小学校区

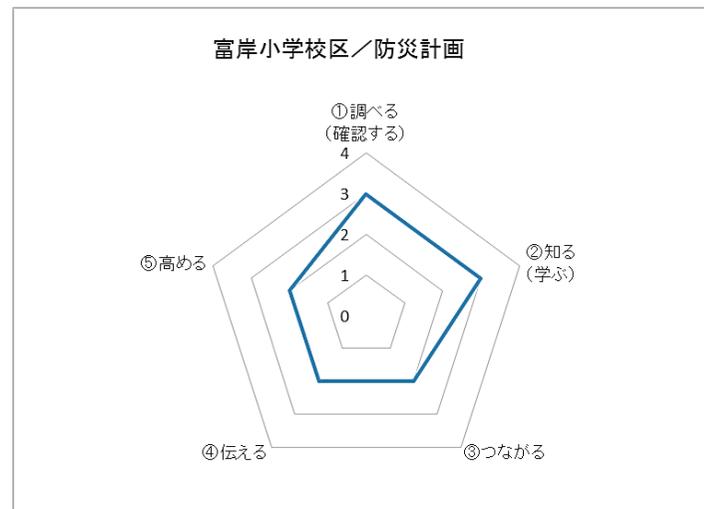
③居場所・相談・つながりづくりの推進

評価指標	内容	点数	平成29年度に向けて
①調べる (確認する)	新規サロンの設立はないが、既存サロンの活動は定期的に行われている。	3	継続して行う。
②知る (学ぶ)	サロン活動等を通して、独居高齢者や日頃関わりの少ない方との接点を持つことが出来た。	3	継続して行う。
③つながる	地域包括支援センター等と繋がることで、地域住民との関わりを深めることが出来た。	4	関係機関(特に専門職)にも協力をもらえるよう働きかける。
④伝える	日頃の福祉活動がきずな活動でもあるが、普及及び浸透としては不十分である。	3	継続して普及及び浸透のためにアプローチを行う。
⑤高める	支援者、利用者ともに地域の居場所としての機能している。	3	継続して行う。



④防災計画

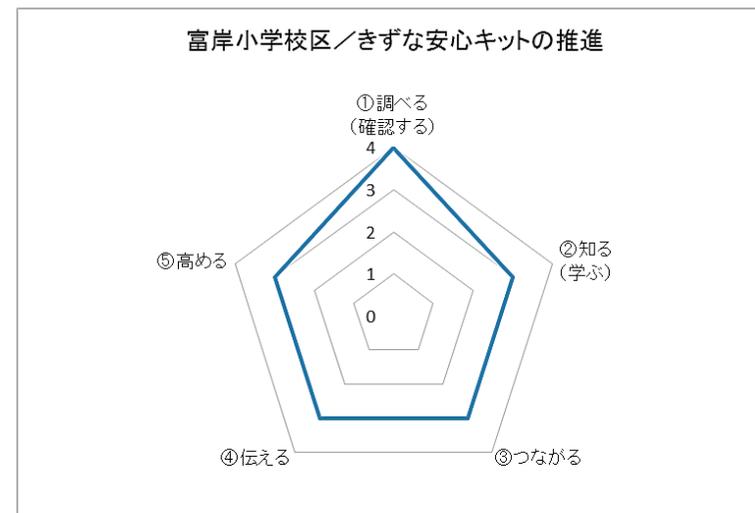
評価指標	内容	点数	平成29年度に向けて
①調べる (確認する)	各地区ごとに避難訓練等を行っており、一定の参加者も得ている。	3	継続して行う。
②知る (学ぶ)	住民座談会等を通して、各地区の取り組み状況を確認している。	3	継続して行う。
③つながる	各町会ごとに取り組みも異なるため、住民座談会等とおして意見交換を行い、高め合う必要がある。	2	継続して行う。
④伝える	各地区ごとに活動の幅がある為、住民座談会や推進委員会を通して情報共有を図る。	2	継続して行う。
⑤高める	直接的な改善や効果ははっきりとは見えていない。まずは基盤づくりを行っていききたい。	2	継続して行うとともに、意見を集約できるような場を検討する。



富岸小学校区

⑤きずな安心キットの推進

評価指標	内容	点数	平成29年度に向けて
①調べる (確認する)	地区全体として概ね取り組んでいる。	4	今後未加入の地区も含めて状況を確認しながら、アプローチをしていく。
②知る (学ぶ)	住民座談会を通して、各地区での取り組み状況について意見交換する場を持つことができた。	3	継続して行う。
③つながる	住民座談会の中で、各専門機関との繋がりも出来ている。	3	専門機関等も含めて、広域な人たちとも関わりを持ちたい。
④伝える	地区全体として取り組めるよう、町会への働きかけを行っていく必要がある。	3	継続して行う。
⑤高める	現時点では、概ね地区全体として取り組んでいるが今後も住民座談会や町会への働きかけを行い、校区全体としての活動にしていく必要がある。	3	働きかけを継続していく。



校区きずな推進委員

リーダー	瀧川 正義	きずな推進委員	小林 良郷	きずな推進委員	有野 國男
サブリーダー	袖山 功	きずな推進委員	中山 晃一	校区きずな推進委員	菊地 由三
サブリーダー	工藤 保秋	きずな推進委員	亀山 秀一	校区きずな推進委員	田中恵美子
きずな推進委員	筑野 栄子	きずな推進委員	山道 春秋	校区きずな推進委員	合田 和彦
きずな推進委員	八重樫一男				

重点項目実績

1. 校区活動

時期	名称	人数	内容
7月25日	第1回富岸小学校校区きずな推進委員会	8	第2期計画の評価について 今年度の取り組み内容について
9月27日	第2回富岸小学校校区きずな推進委員会	13	新生地区連合町内会の取り組み内容について 住民座談会について

時期	名称	人数	内容
12月6日	富岸小学校校区住民座談会	47	第3期きずな計画説明と校区の取り組みについて 情報交換会「知ってほしい！わたしのおもい」

2. 日頃からの見守り・訪問・声かけ（小地域ネットワーク活動、ふれあい会食会）

小地域ネットワーク活動

若葉町内会	新生町内会	新生町三丁目町会
富岸町内会	新生町2丁目町会	新生町望洋町内会
富浜町内会	新生北町内会	

実施率 73% (8 / 11)

ふれあい会食会

若葉町内会	新生町内会	新生町三丁目町会
富岸町内会	新生町2丁目町会	新生町望洋町内会
富浜町内会	新生北町内会	

実施率 73% (8 / 11)

3. 居場所・相談・つながりづくりの推進（ふれあい・いきいきサロン）

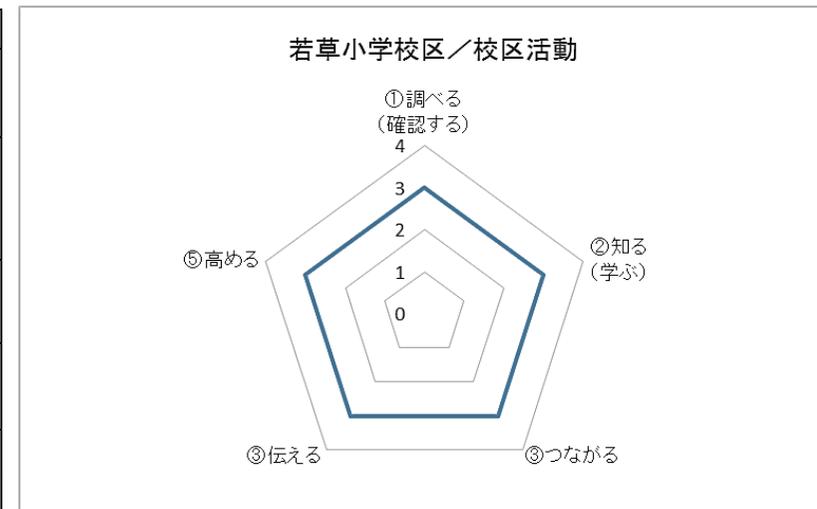
スマイルサロンドリーム	サロン「スマイル」	健康サロン・レインボー
寿サロン	ふれあい会	元気サロン虹の会
いきいきサロン 若葉	新生町2丁目町会いきいきサロン	新生きらきらサロン

若草小学校区

若草小学校区

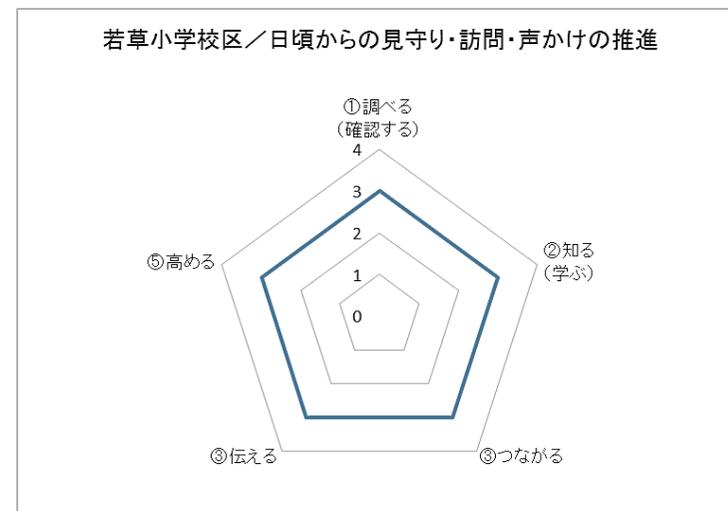
①校区活動

評価指標	内容	点数	平成29年度に向けて
①調べる (確認する)	○校区の実態を確認することができたか ・住民座談会や校区推進委員会等での意見交換を通じた地域の状況を共有することができた。	3	・住民座談会や校区推進委員会で、普段関わることの少ない方にも参加してもらうことが必要。
②知る (学ぶ)	○知る・学ぶ機会を設けることができたか ・住民座談会では、校区内で車椅子で生活されている方に地域の中で課題について話してもらうことで、地域の中に埋もれている課題を当事者の話しから学ぶことが出来た。 また、車椅子の操作体験を行うことで、車椅子で生活している人の目線に立って地域の課題について考える場となった。	3	・昨年度は、「障がい」にテーマ当事者にスポットをあてて座談会を実施したが、当事者と専門機関との関わりについての紹介も必要であった。
③つながる	○関係する団体等との程度つながることができたか ・みなカフェ(特養わかくさ)やちよこっと茶屋(コープさっぽろ)を通し、地域包括支援センターけいあいと現在も繋がっている。	3	・校区内の専門機関との繋がりが少ない為、今後は、様々な機関を巻き込みながら推進していきたい。
③伝える	○どのくらいきずなを伝えることができたか 住民座談会等できずなを伝えることができた。	3	・住民座談会できずなの説明を行い、広めることが出来たが、まだ一部の人のみなので今後も校区に浸透させていけるよう努めたい。
⑤高める	○地域をよりよくすることにつながったか ・小地域ネットワーク活動やサロン活動等を通して、普段からの見守りを行うことが出来た。	3	・鍵預かりモデル事業などを通して、さらに小地域の強化に努めたい。また、民生委員や町内会などとの連携も密にしつつ継続的に実施していきたい。



②日頃からの見守り・訪問・声かけの推進

評価指標	内容	点数	平成29年度に向けて
①調べる (確認する)	○校区の実態を確認することができたか ・H28年度は、新規で1町内会が小地域の活動に参加した。よって、7町内会中5町内会が参加している状況である。	3	・H29年度は、全町内会が実施するよう小地域の推進を行なっていきたい。
②知る (学ぶ)	○知る・学ぶ機会を設けることができたか ・住民座談会を通して、小地域の実施状況や目的などを参加者が学ぶことができた。	3	・H29年度も引き続き、推進委員会や座談会などで紹介していきたい。
③つながる	○関係する団体等との程度つながることができたか ・H28年度から鍵の預かりモデル事業を通して特養わかくさなどと鍵の預かりを通じた見守り活動を行なっている。	3	・鍵預かり事業を行う上で、特に鍵を借りる事例は出なかったが、いざというときに備えて事業所などと連携を密にしていきたい。
③伝える	○どのくらいきずなを伝えることができたか ・新しく実施した町内会を始めとする実施町内会へきずなを伝えることができた。	3	・未実施町内会に対しても小地域の推進を行うと共にきずなの推進を行なっていきたい。
⑤高める	○地域をよりよくすることにつながったか ・小地域を行うことで、日頃から顔繋ぎができています。	3	・実施町内会についても新しく見守りが必要な世帯が無い確認しながら推進していきたい。

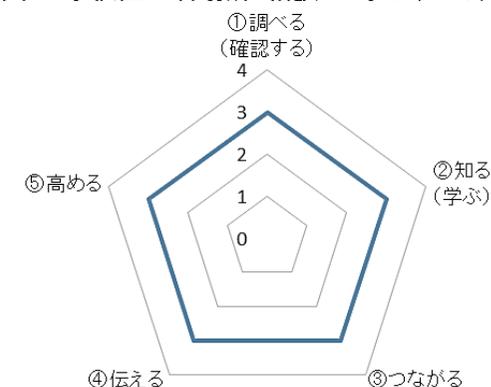


若草小学校区

③居場所・相談・つながりづくりの推進

評価指標	内容	点数	平成29年度に向けて
①調べる (確認する)	○校区の実態を確認することができたか ・新しくできたサロンは無いが、既存のサロンで継続して活動している。	3	・地域の中で、気になる人をサロンに参加してもらえるよう活動していきたい。
②知る (学ぶ)	○知る・学ぶ機会を設けることができたか ・各サロンを運営する中で、地域との関わりが少ない住民と関わることができた。	3	・引き続き継続して行いたい。
③つながる	○関係する団体等との程度つながることができたか ・会食会を通して、地域で見守りが必要な高齢者と繋がることできた。 また、何らかの理由で会食会会場まで来れない方については、会食会のお弁当をお宅へ届けに行くことで、見守り活動に繋がっている。	3	・引き続き継続して行いたい。
④伝える	○どのくらいきずなを伝えることができたか ・通常のサロン活動や会食会を通して、参加者に伝えることができた。	3	・引き続き継続して行いたい。
⑤高める	○地域をよりよくすることにつながったか ・サロンや会食会を通じた見守り活動も出来ている為、地域福祉をより良いものにする為には役割が大きい。	3	・引き続き継続して行いたい。

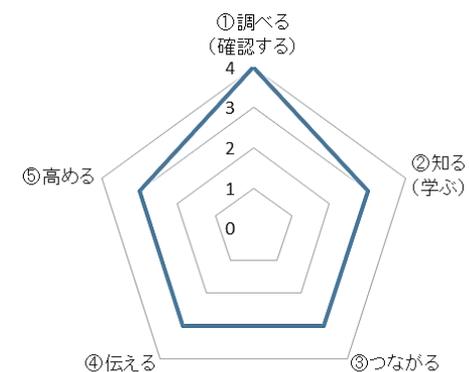
若草小学校区／居場所・相談・つながりづくりの推進



④防災活動

評価指標	内容	点数	平成29年度に向けて
①調べる (確認する)	○校区の実態を確認することができたか ・住民座談会で校区内で生活している障がい当事者に普段の生活や大規模停電の講話をしていただいた。	4	・地域の中で課題を抱えて生活している人の話しは、地域住民を対象した座談会ではその人の生活状況などイメージしやすいので、当事者に協力してもらうことは効果的である。
②知る (学ぶ)	○知る・学ぶ機会を設けることができたか ・各町内会では、避難訓練等行われている。 また、住民座談会では、災害時に車椅子ユーザーの対応ができるよう車椅子の介助方法を学ぶ機会を設けた。	3	・引き続き継続して行いたい。
③つながる	○関係する団体等との程度つながることができたか ・避難訓練等を通して住民同士の顔の繋がりが出来たが、主に健康な人の参加が多かったが、災害時支援が必要な障がい者や高齢者の参加がほぼなかった。	3	・H29年は、サロン参加者や支援を必要としている人にも参加してもらえるよう呼びかけたい。
④伝える	○どのくらいきずなを伝えることができたか ・防災活動を通じた地域とのネットワークづくりを行なった。	3	・引き続き継続して行いたい。
⑤高める	○地域をよりよくすることにつながったか ・避難訓練を実施することにより、地域住民同士の顔の繋がりが増えた。	3	・引き続き継続して行いたい。

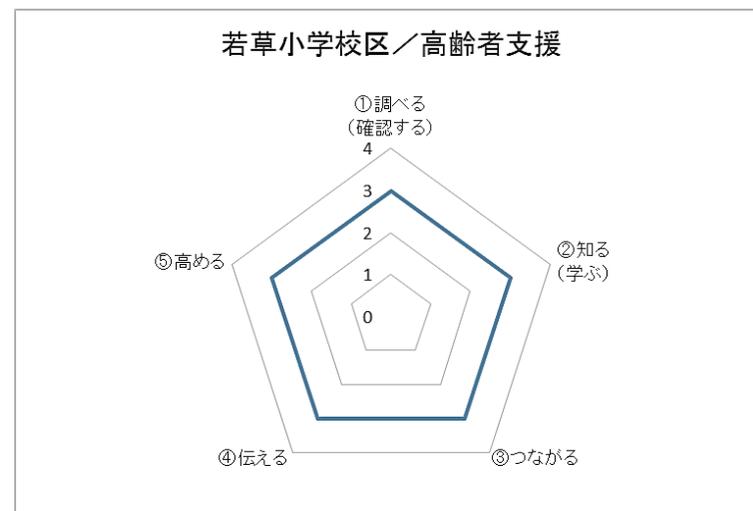
若草小学校区／防災活動



若草小学校区

⑤高齢者支援

評価指標	内容	点数	平成29年度に向けて
①調べる (確認する)	○校区の実態を確認することができたか ・鍵の預かりモデル事業を通して地域の独居高齢者の状況を確認することができた。	3	・引き続き継続して行いたい。
②知る (学ぶ)	○知る・学ぶ機会を設けることができたか ・鍵預かり事業を通して、きずなや地域の状況を学ぶことができた。	3	・協力者や対象者の発掘を行いたい。
③つながる	○関係する団体等との程度つながることができたか ・鍵預かりモデル事業を通して、特養わかさや民生委員などと連携して行うことができた。	3	・H29年については、特に鍵を開ける事例は無かったが、いざという時スムーズに行動できるよう備えたい。
④伝える	○どのくらいきずなを伝えることができたか ・モデル事業協力者を通じて、利用者に対しきずな情報提供を図った。	3	・引き続き継続して行いたい。
⑤高める	○地域をよりよくすることにつながったか ・独居高齢者のいざという時の為、また、鍵の預かりを通した日頃の見守りが出来た為、この事業を行う役割は大きい。	3	・引き続き継続して行いたい。



校区きずな推進委員

リーダー	南 行雄	きずな推進委員	境 幸子	きずな推進委員	中島 康晴
サブリーダー	伊藤 秀男	きずな推進委員	星 康彦	校区きずな推進委員	伊藤 修二
サブリーダー	松川 陽子	きずな推進委員	堀川千恵子	校区きずな推進委員	相馬 眷三
きずな推進委員	森田 只志	きずな推進委員	植田 正子	校区きずな推進委員	長内 正二
きずな推進委員	高橋 正子	きずな推進委員	関 國男	校区きずな推進委員	西村 孝夫
きずな推進委員	西村美代子				

重点項目実績

1. 校区活動

時期	名称	人数	内容
7月15日	第1回若草小学校校区きずな推進委員会	14	リーダー・サブリーダーの選出について 鍵預かりサービスについて 第2期計画の評価について

時期	名称	人数	内容
3月21日	若草小学校校区住民座談会	25	第3期きずな計画説明と校区の取り組みについて 車椅子ユーザーの講話 車椅子試乗体験 意見交換

2. 日頃からの見守り・訪問・声かけ（小地域ネットワーク活動、ふれあい会食会）

小地域ネットワーク活動

若草町内会	旭ヶ丘町内会
若草第二町内会	美園町会
美園南町内会	桜ヶ丘町会

実施率 86% (6 / 7)

ふれあい会食会

若草町内会	旭ヶ丘町内会	美不二町会
若草第二町内会	美園町会	桜ヶ丘町会
美園南町内会	実施率 100%	

(7 / 7)

3. 居場所・相談・つながりづくりの推進（ふれあい・いきいきサロン）

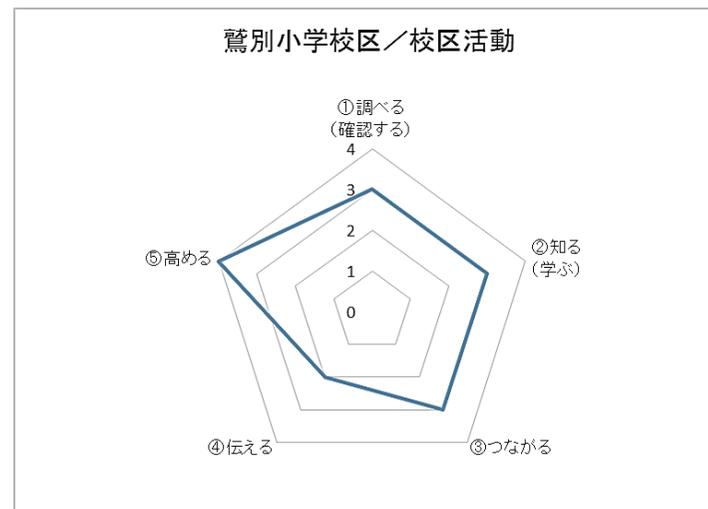
若草町いきいきサロン	いちにのさん
いきいきサロンM・K・P	美園町会いきいきサロン
なかよしサロン	みんなでいきいき

鷺別小学校区

鷺別小学校区

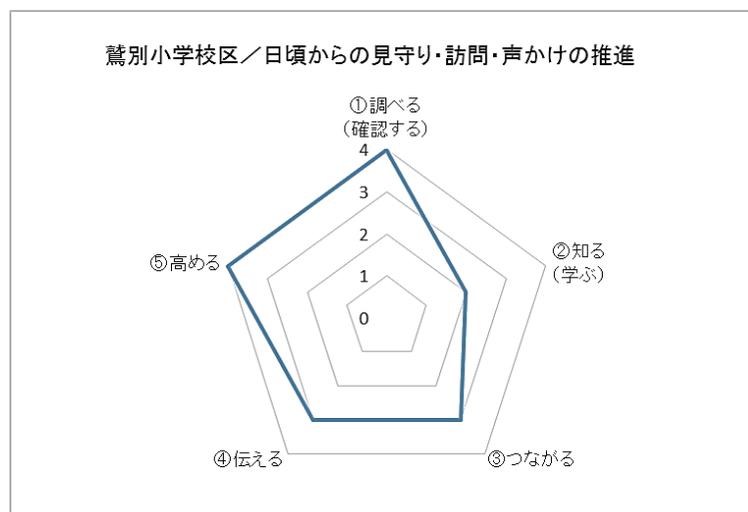
①校区活動

評価指標	内容	点数	平成29年度に向けて
①調べる (確認する)	・校区の実態を確認することができたか ○普段の活動の中で顔を合わせ情報交換は行っていたが、校区推進委員会の開催は夏に1回のみであった。	3	○校区推進委員会を、評価の時期にも行えるとよりよい。
②知る (学ぶ)	・知る・学ぶ機会を設けることができたか ○校区推進委員会を通し、委員同士で情報を知ることが出来た。	3	○住民座談会の開催を通じ、地域の意見や現状を知る機会としていく。
③つながる	・関係する団体等との程度つながることができたか ○日頃の活動において、関係機関と連携しながら進めることが出来た。	3	○関係機関との連携を通し、きずなを育てる活動を進めていく。
④伝える	・どのくらいきずなを伝えることができたか ○校区推進委員会を通し、きずな計画について伝え合うことが出来た。	2	○住民座談会の開催を通じ、住民にも地域活動を伝えていく。
⑤高める	・地域をよりよくすることにつながったか ○推進委員で意見を述べ合うことで、活動をよりよいものにするための検討が行えた。	4	○今後も地域で取り組む活動をよりよくするための検討の機会としていく。



②日頃からの見守り・訪問・声かけの推進

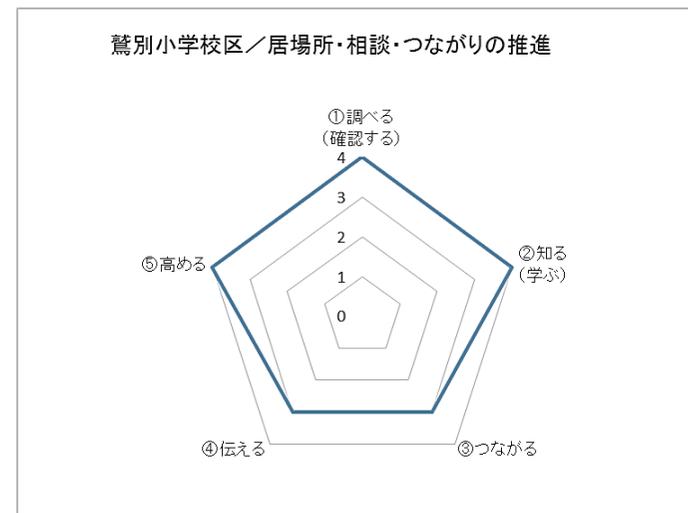
評価指標	内容	点数	平成29年度に向けて
①調べる (確認する)	・校区の実態を確認することができたか ○見守りたいでの活動や声かけなどを通じ、校区の実態を把握することに努めた。	4	○熱心な見守り活動を今後も継続していく。
②知る (学ぶ)	・知る・学ぶ機会を設けることができたか ○まだこの取り組みについて知らない人があり、周知し切れなかった。	2	○知る機会を設けながら、きずな安心キットの全町内会実施を目指していく。
③つながる	・関係する団体等との程度つながることができたか ○関係団体や民生委員などにも周知していく必要がある。	3	○地域の団体とつながりながら、小地域ネットワーク活動を進めていく。
④伝える	・どのくらいきずなを伝えることができたか ○ふれあいフェスティバルなどの場で、見守りたいとして防犯への啓発を行うことが出来た。	3	○地域がつながることの必要性を今後も周知していく。
⑤高める	・地域をよりよくすることにつながったか ○地域住民に安心やつながりをもたらすことが出来た。	4	○熱心な見守り活動を今後も継続していく。



鷺別小学校区

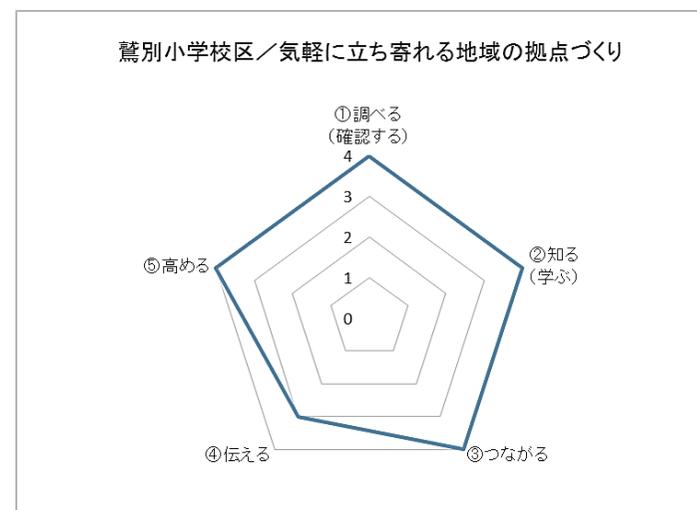
③居場所・相談・つながりづくりの推進

評価指標	内容	点数	平成29年度に向けて
①調べる (確認する)	・校区の実態を確認することができたか ○サロンやふれあい会食会を通し、参加者や地域の実情を知ることが出来た。	4	○今後も地域を知ることの出来る場としていく。
②知る (学ぶ)	・知る・学ぶ機会を設けることができたか ○サロンサポーター連絡会を通し、よりよい活動運営のための学びを得た。 ○サロンでの講話などで、参加者も学びを得る場にもなっている。	4	○運営者も参加者も、学びを深める機会を今後も設けていく。
③つながる	・関係する団体等との程度つながることができたか ○地域包括支援センター「けいあい」などの関係機関と連携しながら活動を行なえた。	3	○今後も関係機関と連携しながら活動していく。
④伝える	・どのくらいきずなを伝えることができたか ○チラシなどの広報活動を行なえた。	3	○広く住民や関係機関に浸透するよう、周知していく。
⑤高める	・地域をよりよくすることにつながったか ○ふれあい会食会の全町内会実施などにより、地域のつながりを深めることが出来た。	4	○今後も地域の居場所として役割を担っていく。



④気軽に立ち寄れる地域の拠点づくり

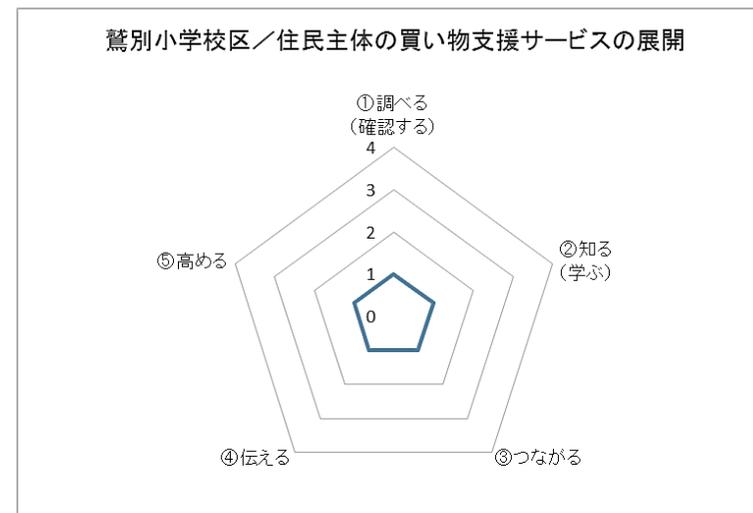
評価指標	内容	点数	平成29年度に向けて
①調べる (確認する)	・校区の実態を確認することができたか ○立ち上げたことで、校区の状況を知ることが出来た。 ○各町内会の代表が顔を合わせる場であるので、地域の情報を共有することが出来た。	4	○今後も地域の情報を共有していく場とする。
②知る (学ぶ)	・知る・学ぶ機会を設けることができたか ○地域包括支援センター「けいあい」からの講話などを通し、知識を深めることが出来た。	4	○今後も運営者も利用者も、知識を深めること出来る場とする。
③つながる	・関係する団体等との程度つながることができたか ○地域包括支援センターや、これまで関わりが薄かった民生委員とも連携することが出来た。	4	○引き続き関係団体と連携しながら運営していく。
④伝える	・どのくらいきずなを伝えることができたか ○チラシを作製し、地域住民に周知をはかることが出来た。	3	○校区推進委員会などでも周知していく。
⑤高める	・地域をよりよくすることにつながったか ○校区の高齢者にとっての居場所となった。 ○月に1回安定して行うことが出来た。	4	○開催場所や将来性などについて検討を進め、今後もよりよい拠点となるよう目指していく。



鷲別小学校区

⑤住民主体の買い物支援サービスの展開

評価指標	内容	点数	平成29年度に向けて
①調べる (確認する)	・校区の実態を確認することができたか ○未実施	1	○地域の実態を確認しながら、開始に向け検討していく。
②知る (学ぶ)	・知る・学ぶ機会を設けることができたか ○未実施	1	○運営者も利用者も学ぶことの出来る場とする。
③つながる	・関係する団体等とどの程度つながることができたか ○未実施	1	○関係団体とも連携し合いながら、開始に向け検討していく。
④伝える	・どのくらいきずなを伝えることができたか ○未実施	1	○実施にあたり、広く住民にも周知していく必要がある。
⑤高める	・地域をよりよくすることにつながったか ○未実施	1	○地域住民にとって、よりよい取り組みとなるよう検討していく。



校区きずな推進委員

リーダー	池畠 泰彦	きずな推進委員	稲葉 雅幸	校区きずな推進委員	小林 靖親
サブリーダー	竹内 信子	きずな推進委員	須賀川信之	校区きずな推進委員	原田 敬三
サブリーダー	中原 義勝	きずな推進委員	伊藤 隆夫	校区きずな推進委員	柏木 修吉
きずな推進委員	雨洗 康江	きずな推進委員	岡本 政志	校区きずな推進委員	荒木 政博
きずな推進委員	川島 芳治	校区きずな推進委員	手塚 輝幸	校区きずな推進委員	小田 則子
きずな推進委員	村井美保子	校区きずな推進委員	佐々木 進	校区きずな推進委員	杉山 恵子
きずな推進委員	鈴木 信義				

重点項目実績

1. 校区活動

時期	名称	人数	内容
7月27日	第1回 鷺別小学校区きずな推進委員会	15	組織体制の強化について 第2期計画の評価について 拠点の設置について

2. 日頃からの見守り・訪問・声かけ（小地域ネットワーク活動、ふれあい会食会）

小地域ネットワーク活動

はまなす町内会	鷺別2丁目町内会	鷺別町6丁目町内会
ありあけ町内会	鷺別3丁目町内会	ひまわり町内会
はまわし町内会	鷺別町4丁目町内会	

実施率 89% (8 / 9)

ふれあい会食会

はまなす町内会	鷺別1丁目町内会	鷺別町4丁目町内会
ありあけ町内会	鷺別2丁目町内会	鷺別町6丁目町内会
はまわし町内会	鷺別3丁目町内会	ひまわり町内会

実施率 100% (9 / 9)

3. 居場所・相談・つながりづくりの推進（ふれあい・いきいきサロン）

ふれあい健康サロン	4丁目サロン	サロンあじさい
おいでやサロン	リビエールサロン鷺楽	かもめ
はまわしの会	あいあいサロン	